
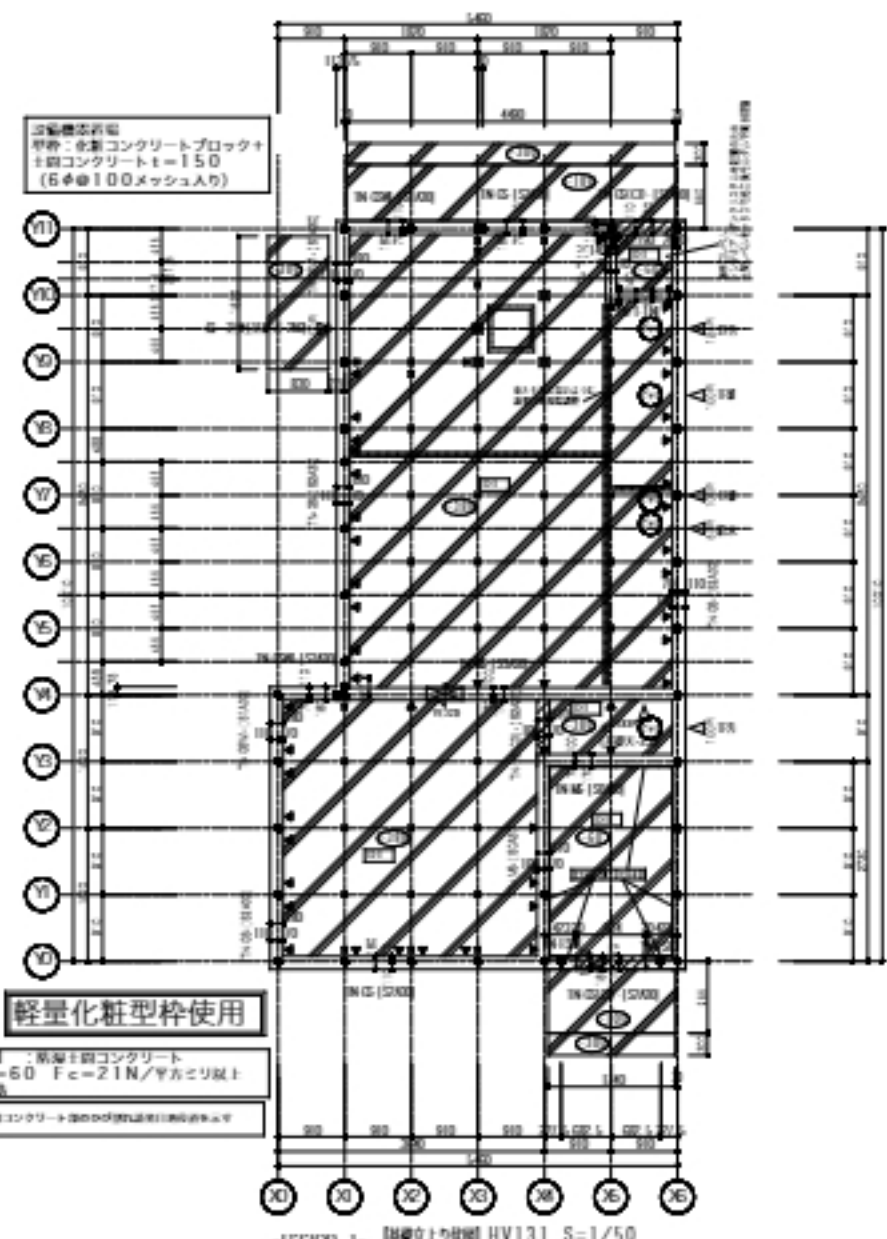


凡 例	
	基礎コンクリート配筋の GL-300(単位:mm)
①) コンクリートは標準配合	
MP : 24N/ヤ方とす。	
標準配合用コンクリート配合率 JIS A 5314-2	
仕組コン (単位:mm) : 21N/ヤ方とす。	

基礎コンクリート配筋図 HV130 S=1/50

設備標準仕様
 基礎：新製コンクリートブロック
 土間コンクリートt=150
 (6φ@100メッシュ入り)



軽量化柱型枠使用

①：新製土間コンクリート
 t=60 Fc=21N/平方センチメートル

土間コンクリート面の仕上げは床仕上げ同様にす

1/50 建築士用図例 HV131 S=1/50

設備：図中の100コンクリートおよび他の標準仕様、規定標準仕様等の
 式 参照 (注：式 参照) 下の100コンクリート標準仕様、規定標準仕様、D10@200とする。

「高台室 (ハイグレード付) の基礎より階間部」及び
 「ロースタイルフロアの基礎より階間部」
 「設備設置室のシューズボックスの階間部」基礎より階間部、以
 「二角鋼 (30×30)」を施工すること
 「ロースタイル部」ハイグレード高台室部、そのほか床面の
 土間層レベルは、GL+200以下 (+0-10mm 差GL基準)
 とする ロースタイル部：GL+107
 ハイグレード高台室部：GL+70

土間標準レベル (特定応急場合、下記レベルとする)

完成式一	1階H (F階) : GL+150 (基礎大-300)
	2階H (1階) : GL+350 (基礎大-100)
新式一	1階H (F階) : GL+150 (基礎大-300)
	2階H (1階) : GL+350 (基礎大-100)
内装土間レベル	GL+70 (基礎大-380)

設備設置室の基礎ピット [土間コンクリート]

300φ以下 300×650以下

設備設置室の基礎ピット [新式土間スラブ]

400φ以下 400×650以下

各土間コンクリート面は必ず基礎大端を基準とする

インサートナット取付標準



取付止

■ N1SK2-4NTA	◆ N1SE-4A
■ N1SK2-3NA	◆ N1SK3-3NA
■ N1SK3-4NTA	◆ N1SK3-2NA

※取付止は基礎のコンクリート面を必ず200mm以上、基礎の取付止位置は、図例を参照

設備・取付標準
 設備取付標準 (67) アレンボルト t=D 1.5 取付標準

取付止

斜線	コンクリート面	斜線	コンクリート面
点線	取付止位置	点線	取付止位置
点線	取付止位置	点線	取付止位置

アンカーボルト

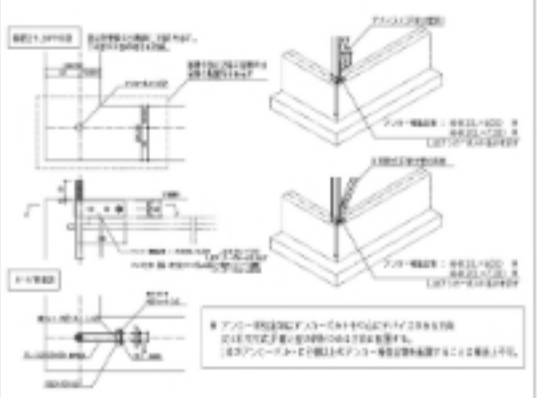
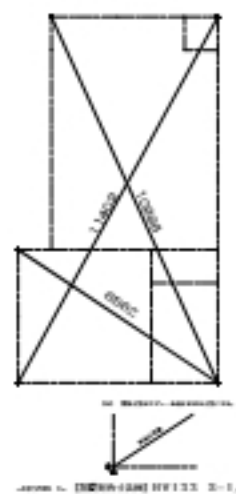
●	φ7 1-000	φ7@50mm	φ7@50mm
●	φ7 1-100	φ7@50mm	φ7@50mm
●	φ7 1-200	φ7@50mm	φ7@50mm
●	φ7 1-300	φ7@50mm	φ7@50mm
●	φ7 1-400	φ7@50mm	φ7@50mm
●	φ7 1-500	φ7@50mm	φ7@50mm
●	φ7 1-600	φ7@50mm	φ7@50mm
●	φ7 1-700	φ7@50mm	φ7@50mm
●	φ7 1-800	φ7@50mm	φ7@50mm
●	φ7 1-900	φ7@50mm	φ7@50mm
●	φ7 1-1000	φ7@50mm	φ7@50mm

インサートナット
 ▲ 取付止 (AAS)
 床下取付口 500×300
 スリーブ
 取付止システム ▲ アースコンタクト

①) コンクリート面は基礎大端
 基準 : 24N/平方センチメートルとする。

基礎・取付止の仕様 : 21N/平方センチメートルとする。

取付止



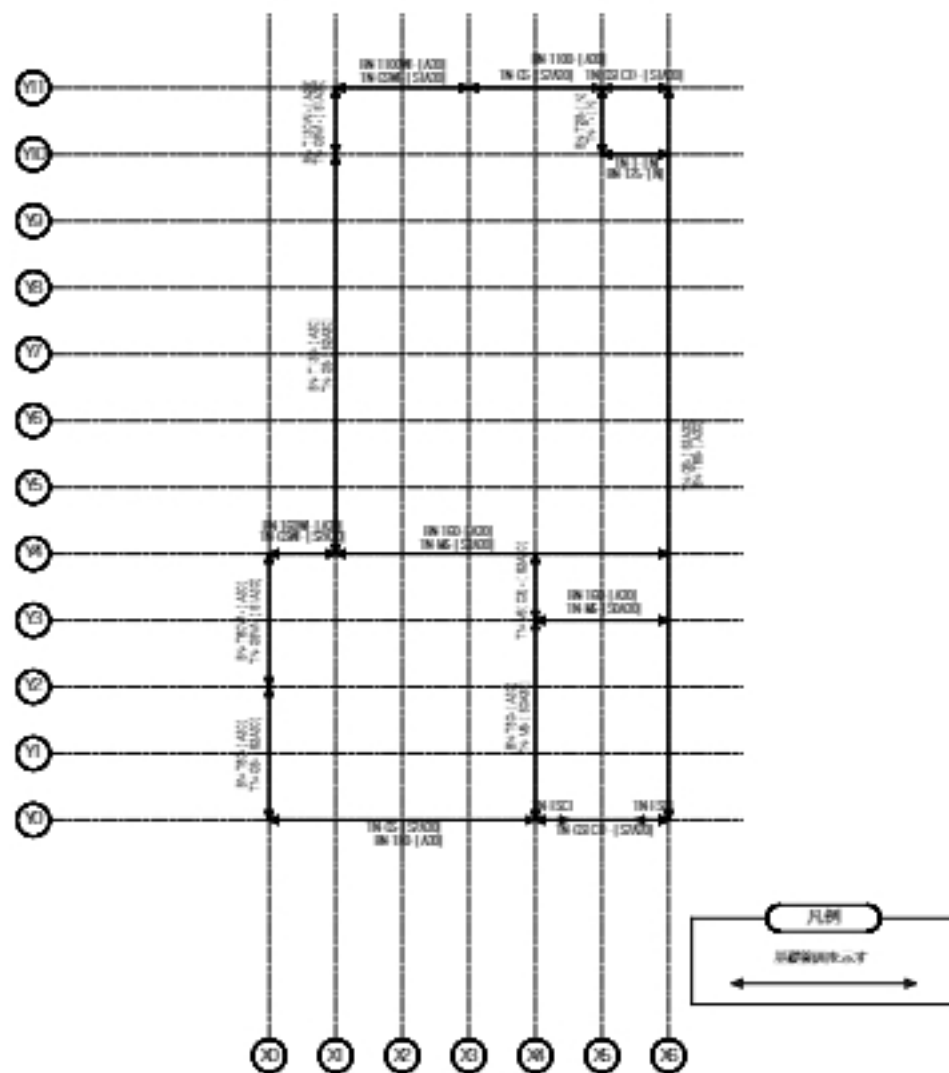


図 1. 基盤入力側 HV132 S=1/50